



医療生協・民医連の心をつないで

第4班 帰還!

トリアージは終了 これからは倒壊した自宅の片付けなども必要!



第5班 出発!

「災害時医療は応用力が必要とされていると思う。頑張てきます!」と隊長の荒熊医師より決意がありました!

3/21(月)17時過ぎ、浅沼医師を隊長とした第4班が無事帰還しました。支援隊の主な支援先は、浅沼 Dr が夜勤と明けで避難所、看護師2名は1日避難所と夜勤トリアージ、徳田放射線技師は連日、放射線科で撮影、荒木さんは調理師の腕を活かして支援者たちの炊き出し支援を行ったそうです。これからの支援は避難所まわりや壊された自宅の片付けなどが必要だと話していました。



スーパーアリーナでの 看護師の医療支援報告

原発の近くで家が流されてしまった高齢者から、避難先を転々としてこれからどうなるんだろうと、複雑な胸の内を聞かされました。放射能漏れがないかは、チェックしてあるから大丈夫だよと気遣っている姿に本当に大変だなあと感じました。物資提供はこちらでは、新品に限らず洗濯してあれば、こども服・ジャンパーや半天など提供してもらえると助かるようです。【行田 水野看護長】

生協間の連携! 支援物資届く!

現地へ送る物資であるマスクの確保をお願いしたところ、さいたまコープネットから15ケース(5万枚)が届きました!

【所沢】待合室に掲示してあった新聞記事を見て、1万円の義援金が寄せられました。

さんとめ地区では組合員と協同して所沢駅頭で義援金を呼びかけます。

協同地区の子育てサークルで粉ミルクやおむつなど集めてくれています!

三月十七日、東京新聞(朝刊)の記事と
并見、医療生協のいる早急支援隊に
「ありがとう」が、義援金を送る予定です。
一 会員より